

# IBM

## スキルと教育に関する調査 - 世界

-  
2022年11月2日～12月20日

# 主な調査結果

## 1. STEM分野の仕事の認知度は低く、多くの人々が「給料が十分でない」と懸念

- 回答者の50%がSTEM分野の仕事を目指すことに関心を持っている
- 回答者の64%の転職希望者がSTEM分野の仕事に馴染みがない
- どのような職業がSTEM分野の仕事とみなされるのか、わからないという回答が多い
- 回答者の62%が、自分自身や家族を養うのに十分な報酬を得られるSTEM分野の仕事に就けるかという懸念を抱いている

## 2. STEM教育は高額であるという誤解がある中、多くの学習者が「何から始めたらいいかわからない」「デジタルバッジについてよく知らない」と回答

- 回答者の61%は、適切な学位を持っていないため、STEM分野の仕事に就く資格がないと考えている
- 40%の学生が、専門的・技術的スキルの開発における最大の障壁は、どこから手をつければいいかわからないことだと回答
- 回答者の60%が、デジタルバッジの取得の費用が高すぎることを懸念している
- 求職者と転職希望者の27%が、STEM分野のデジタルバッジや教育を受ける際に最も重要な検討事項は「費用」と回答
- 仕事を続けながら資格を取得できることは、転職希望者にとって特に重要

# 主な調査結果

- 3. 回答者は、STEM分野の仕事は今後増加する、また、デジタルバッジは従来の教育を補い、キャリアの機会を増やす良い方法であると楽観的**
  - 回答者の66%が、今後10年間で業界を問わずSTEM分野の仕事が増加するとの見解を示した
  - 47%の学生、求職者、転職希望者がデジタルバッジ・プログラムを知っている
  - デジタルバッジ取得者の86%が、キャリア目標の達成に役立ったことに同意
  - 回答者の75%が、デジタルバッジは従来の教育を補完する良い方法であると回答
  - デジタルバッジの取得を目指す理由として、キャリア機会の増加や資格の取得が上位
- 4. 世界中の学習者と労働者は変化を起こすことを計画しており、多くが今後1年間に新しい仕事を探している**
  - 学生・転職希望者の61%が、現在積極的に転職活動をしている、もしくは今後1年以内に転職する予定
  - 全体の8割以上が今後2年間にスキルアップする予定があると回答
  - 少なくとも90%が、オンラインプログラムでスキルを伸ばしたり、新しいことを学んだりできると確信
  - 全体の25%が、今後2年間にオンラインのコースワークを修了する予定であると回答

**調査方法：**本調査は、2022年11月2日～12月20日に、IBMの委託を受け、モーニング・コンサルティングが、13カ国（ブラジル、カナダ、エジプト、フランス、ドイツ、インド、日本、メキシコ、シンガポール、スペイン、UAE、イギリス、アメリカ）の学生4,926人、求職者4,629人、転職希望者4,628人を対象に、オンラインでインタビューを実施。信頼水準95%、誤差±1%ポイント。データは、年齢、性別、学歴に基づき、代表的なサンプルの人口比率を考慮して重みづけされている。

世界：スキルと教育に関する調査

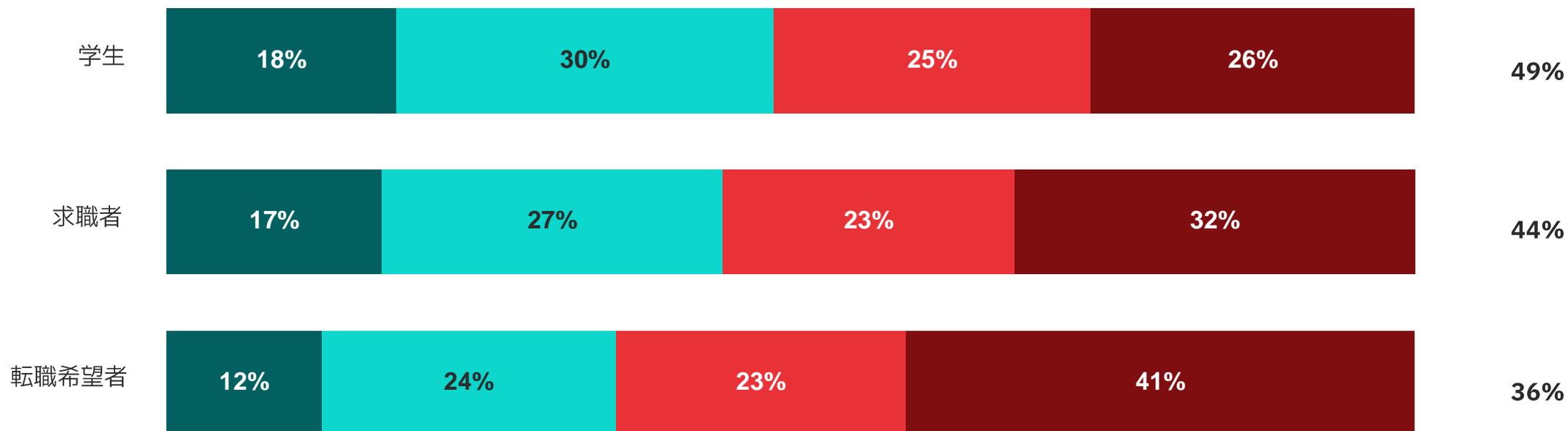
学生（49%）と求職者（44%）の約半数がSTEM分野の仕事に精通していると回答、  
 転職希望者の64%がSTEM分野の仕事に精通していない

▼STEM分野の仕事についてどの程度知っていますか？

“STEMとはScience（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Math（数学）の略で、STEM分野の仕事とはこれらのいずれかの分野に関する仕事のこと”

● よく知っている    ● ある程度知っている    ● 少し知っている    ● 知らない

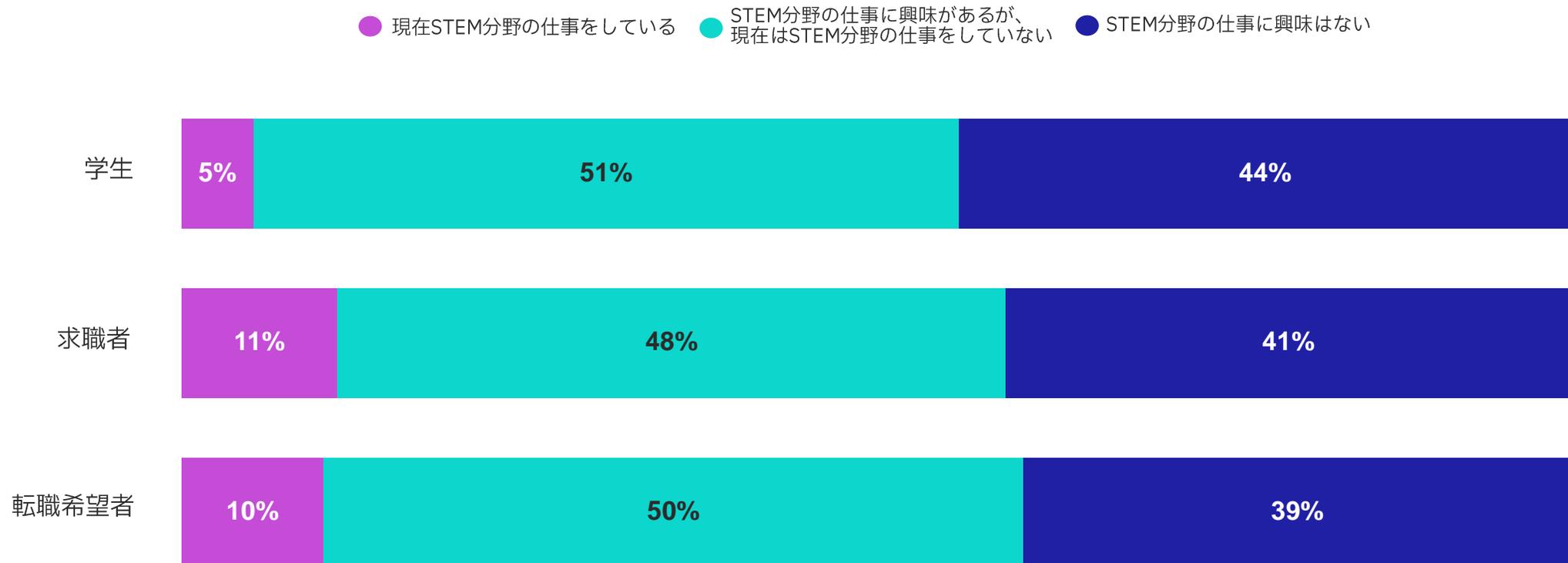
「よく知っている」  
 「ある程度知っている」  
 と回答した割合



## 世界：スキルと教育に関する調査

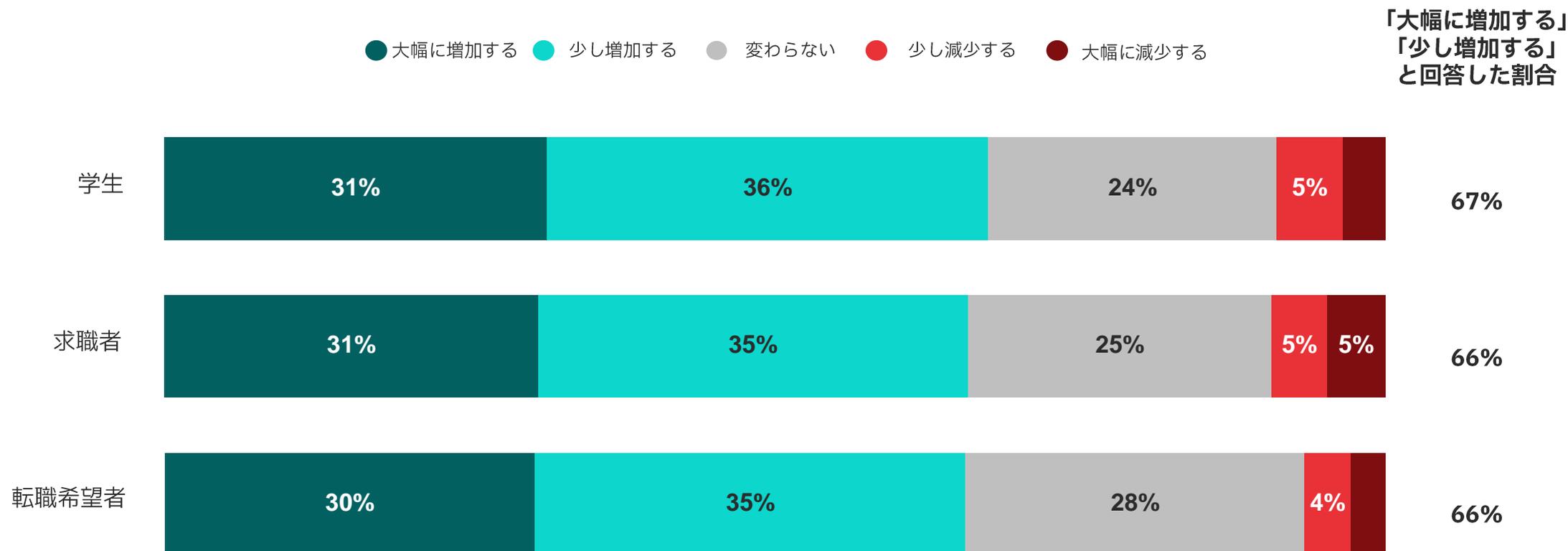
回答者の大多数は現在STEM分野の仕事に就いていない。学生（51%）と転職希望者（50%）の半数、求職者（48%）の半数近くがSTEM分野の仕事に興味があると回答

▼次のうちどれに当てはまりますか？



回答者の3分の2が、今後10年間でSTEM分野の仕事のキャリア機会は増加すると考えている

▼今後10年間で、STEM分野の仕事のキャリアの機会は増えると思いますか？



どの仕事かSTEM分野の仕事とみなされるかわからないという回答が多い

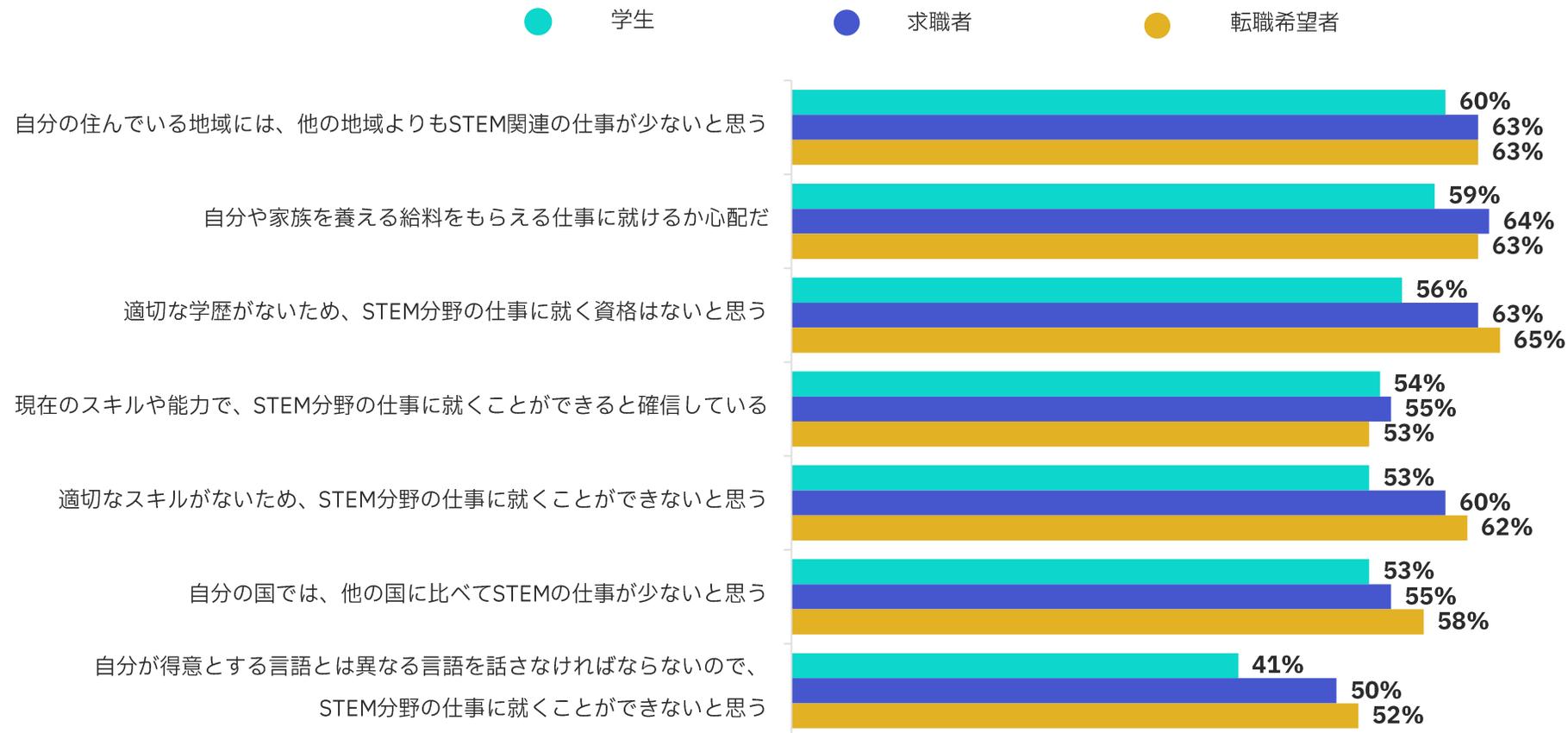
▼次のうち、どれをSTEMの仕事と考えますか？（複数選択可）

	学生	求職者	転職希望者
ソフトウェア開発者	48%	40%	42%
Webプログラマー	41%	34%	38%
データアナリスト	41%	36%	39%
自然科学者（生物学者、化学者など）	38%	32%	32%
機械技術者	38%	30%	30%
サイバーセキュリティー・アナリスト	38%	33%	36%
データベース・マネージャー	34%	31%	33%
ITヘルプデスク	33%	30%	31%
社会科学者（心理学者、社会学者など）	24%	25%	21%
プロジェクトマネージャー	18%	18%	20%
お客様サービス担当	10%	13%	14%
該当なし	12%	15%	16%

世界：スキルと教育に関する調査

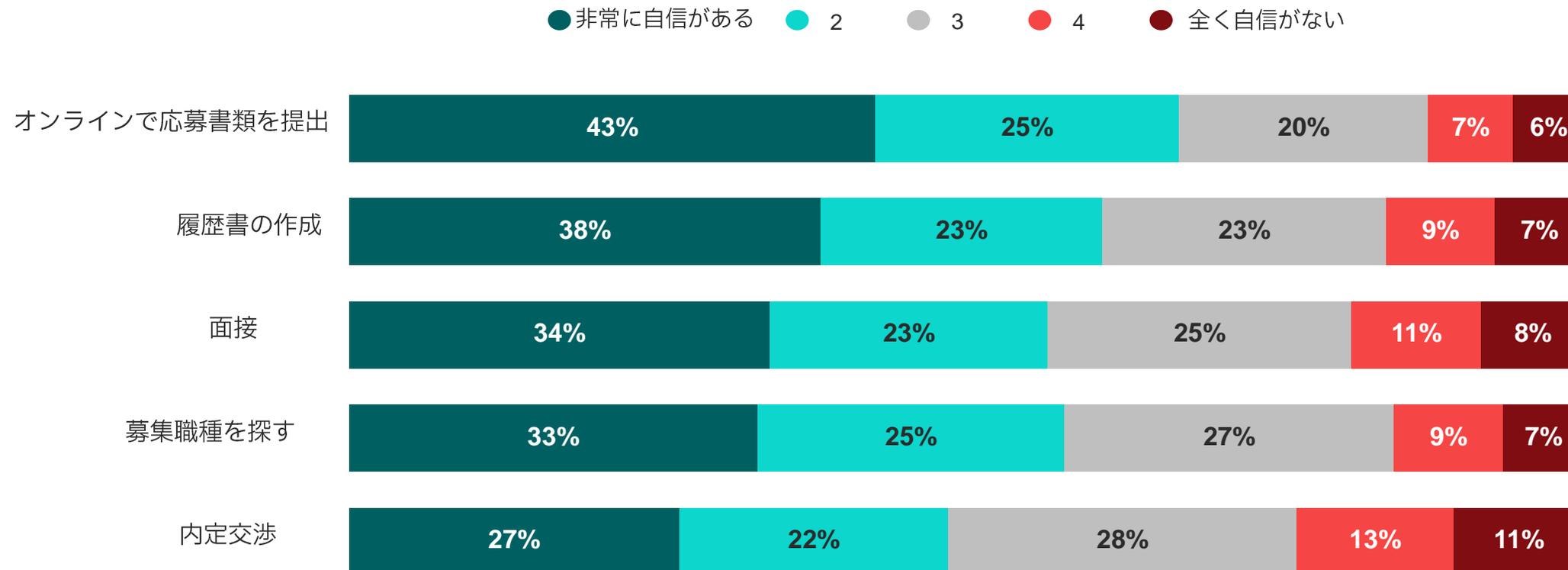
自分や家族を養うのに十分な報酬を得られるSTEM分野の仕事に就けないという懸念を持つ割合が高い。また、少なくとも10人に6人は、自分の地域には他の地域よりもSTEM分野の仕事が少ないと考えている

▼次の職種でSTEM分野の仕事を探す場合、以下にどの程度賛成ですか、または反対ですか？  
（「強く同意する」「やや同意する」の合計の割合）



求職者は、オンラインでの応募や履歴書の作成には自信があるが、内定交渉にはあまり自信がない

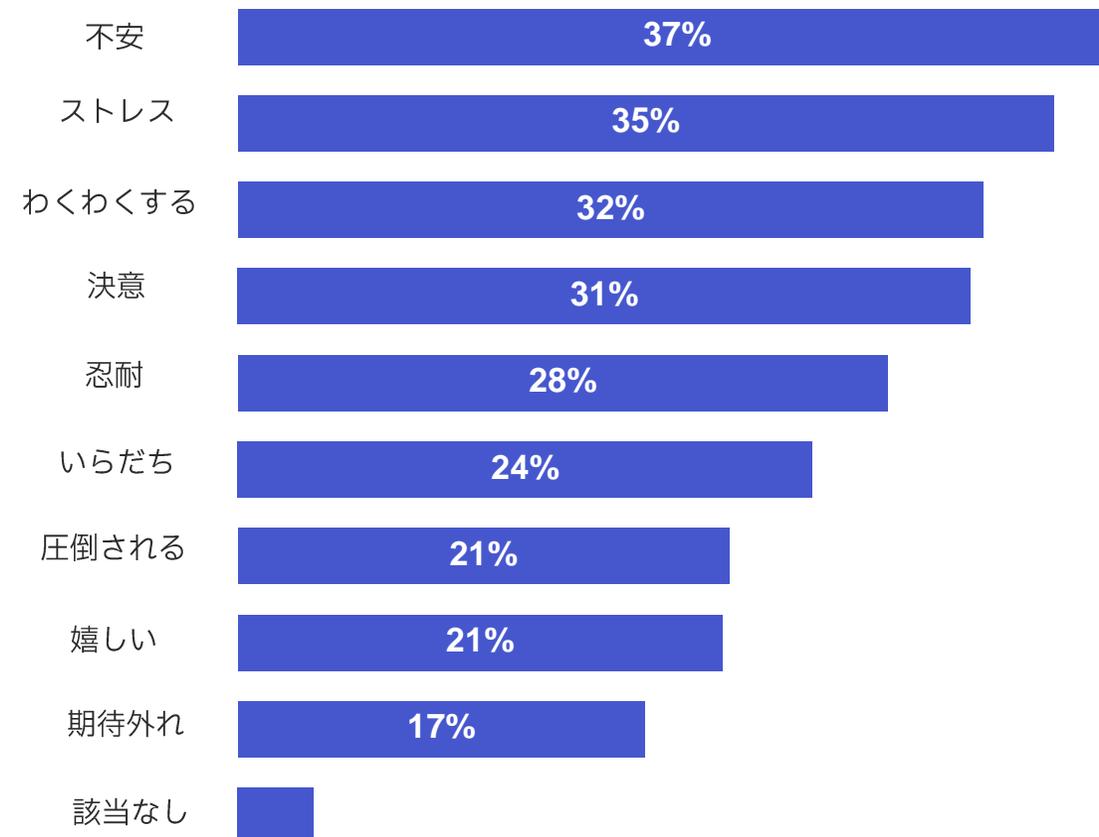
▼以下にどの程度自信がありますか？（求職者のみ回答）



## 世界：スキルと教育に関する調査

求職者は、就職活動中に不安（37%）、ストレス（35%）、決意（32%）を感じる一方、31%がわくわくと回答

▼就職活動中にどのような感情を抱きますか？（複数選択可）



世界：スキルと教育に関する調査

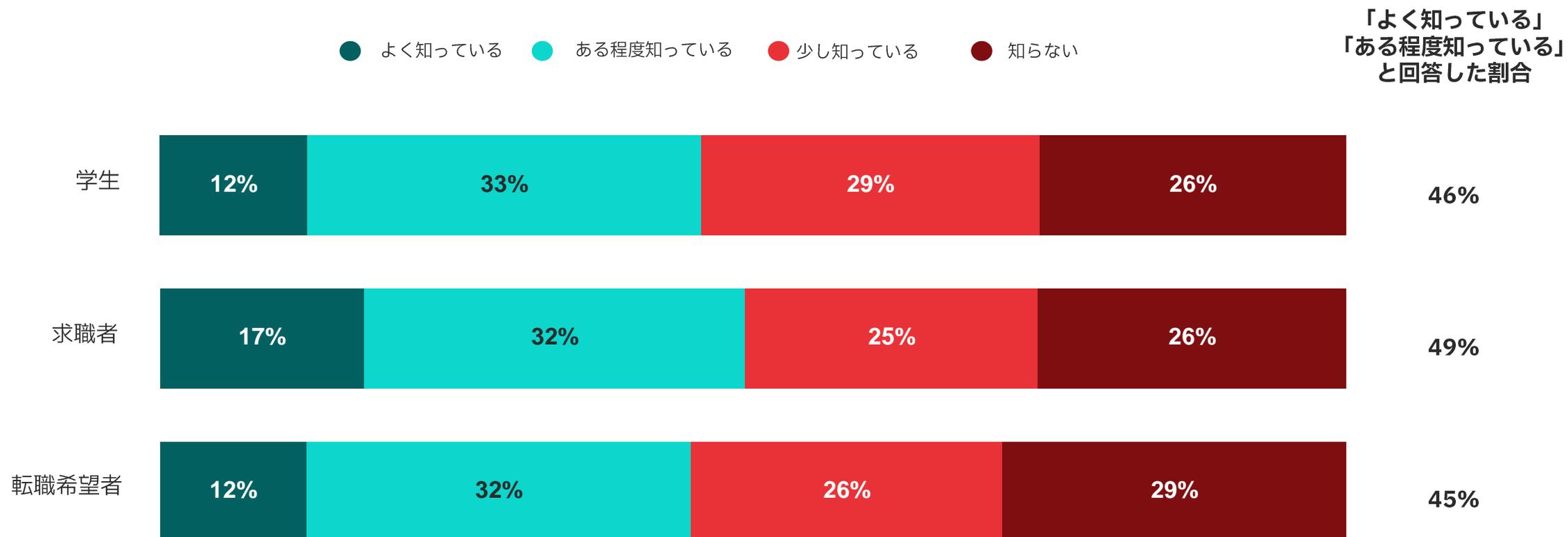
求職者（41%）および転職希望者（45%）にとって、専門的・技術的なスキル開発の最大の障壁は、プログラムの費用が高すぎる

▼専門的・技術的なスキルアップの最大の障壁は次のうちどれでしょうか？（3つまで選択）

	学生	求職者	転職希望者
どこから手をつけていいかわからない	40%	40%	36%
プログラムの費用が高すぎる	38%	41%	45%
時間がない	32%	27%	33%
馴染めないと思う	19%	19%	17%
開発者への関心が低い	18%	15%	12%
自分が学習するのに十分な生徒とは思えない	17%	18%	16%
苦手な外国語で読んだり聞いたりする必要がある	17%	19%	21%
介護をしなければならない	12%	19%	23%
該当なし	11%	7%	7%
その他	1%	1%	1%

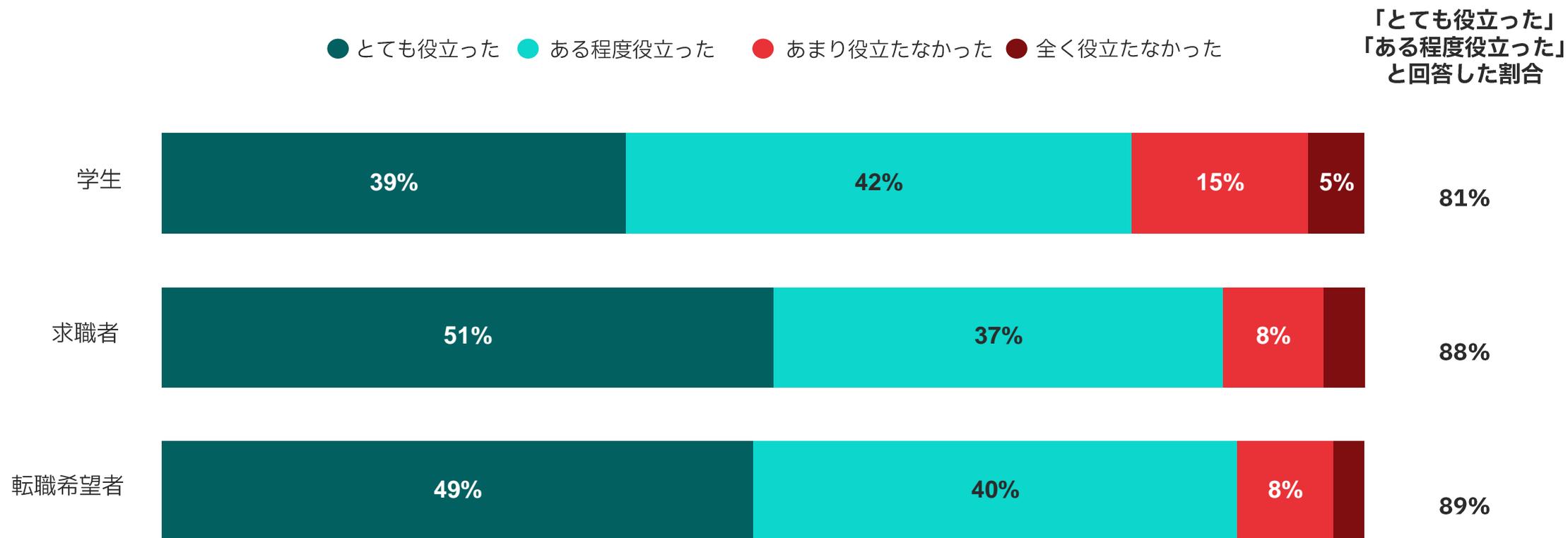
半数以上 (55%) の転職希望者がデジタルバッジ・プログラムについてあまり知らない

▼デジタルバッジ・プログラム（資格取得が可能な専門的・技術的なスキル開発のオンラインプログラム）をどの程度知っていますか。



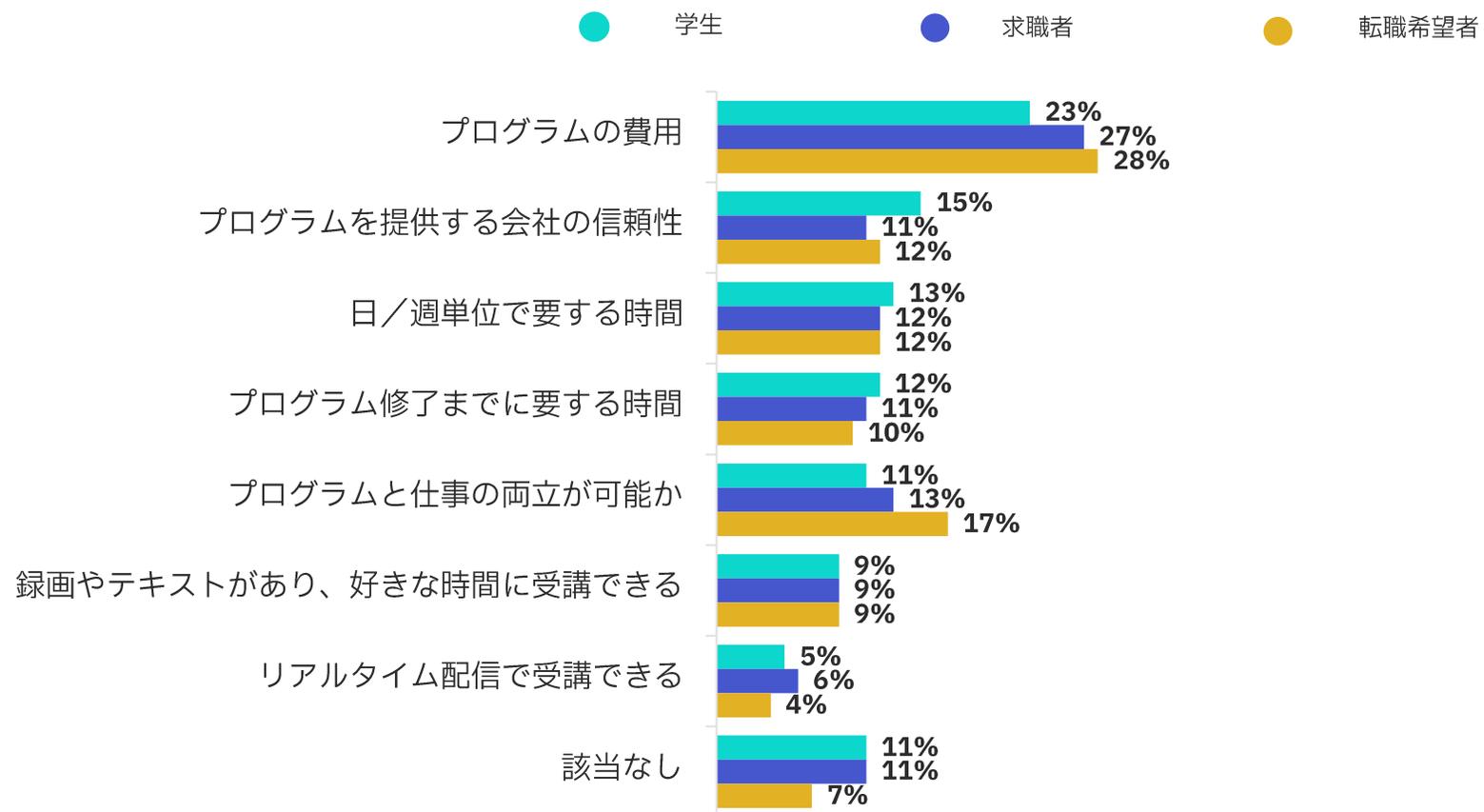
## デジタルバッジ取得者の80%以上が、キャリア目標の達成に役立ったことに同意

▼デジタルバッジは、あなたのキャリア目標を達成するためにどのように役立ったと思いますか？  
(デジタルバッジを取得した人のみ回答)



## スキルアップやデジタルバッジの取得を考える際に最も重要視するのは、プログラムの費用

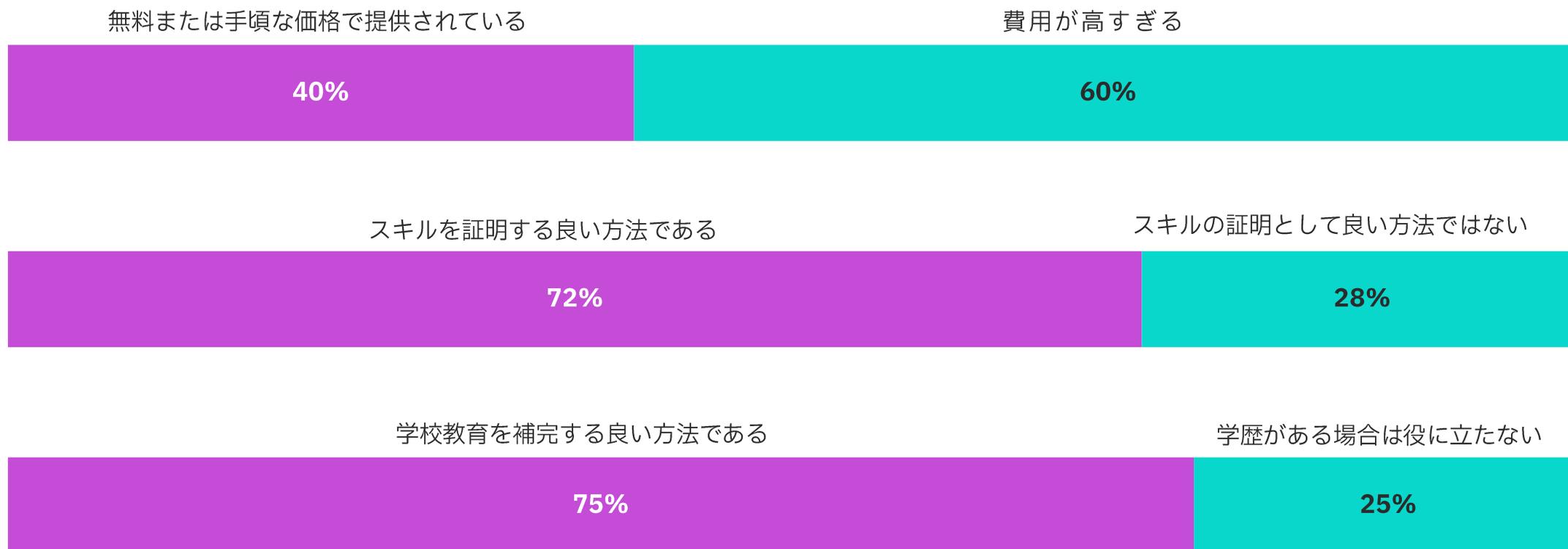
▼自分のスキルを伸ばし、デジタルバッジを取得したいと考えた場合、次のうちどれが最も重要な要素になりますか？



## 世界：スキルと教育に関する調査

60%がデジタルバッジ・プログラムは高すぎると考え、  
75%はデジタルバッジは正規の教育を補完する良い方法だとも考えている

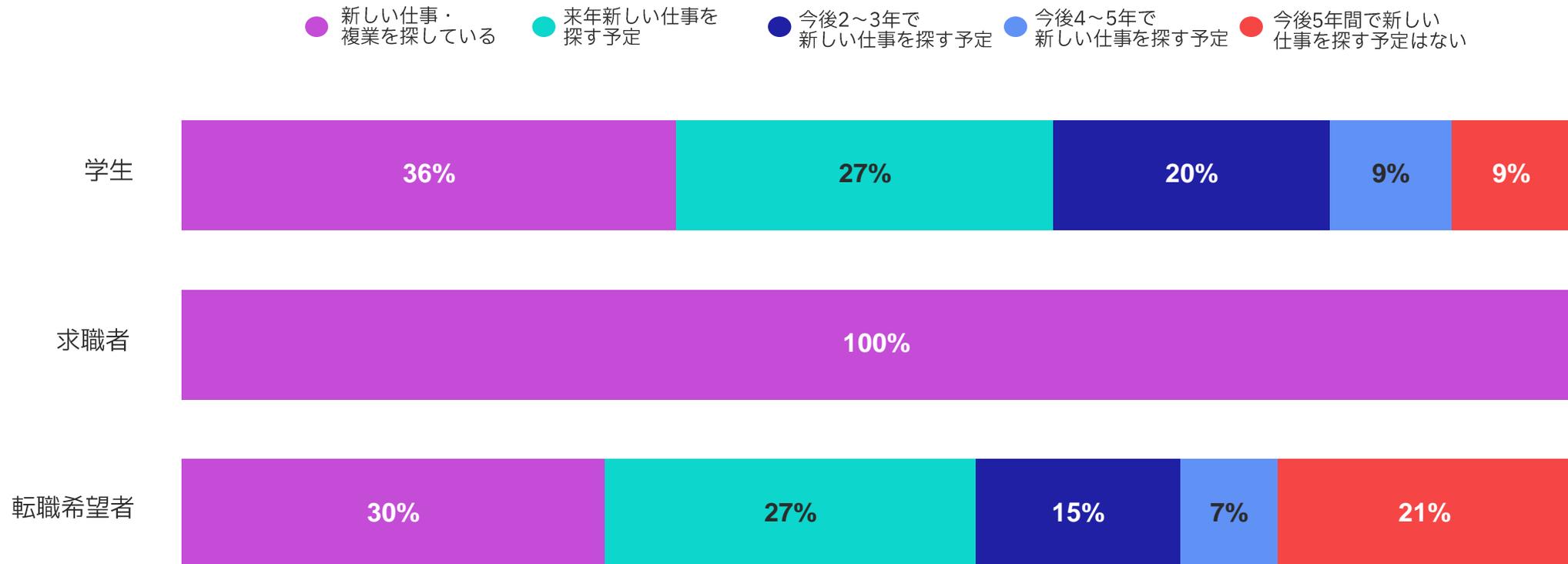
▼デジタルバッジ・プログラムについて、次の記述のうち、最も同意できるものはどれですか？



世界：スキルと教育に関する調査

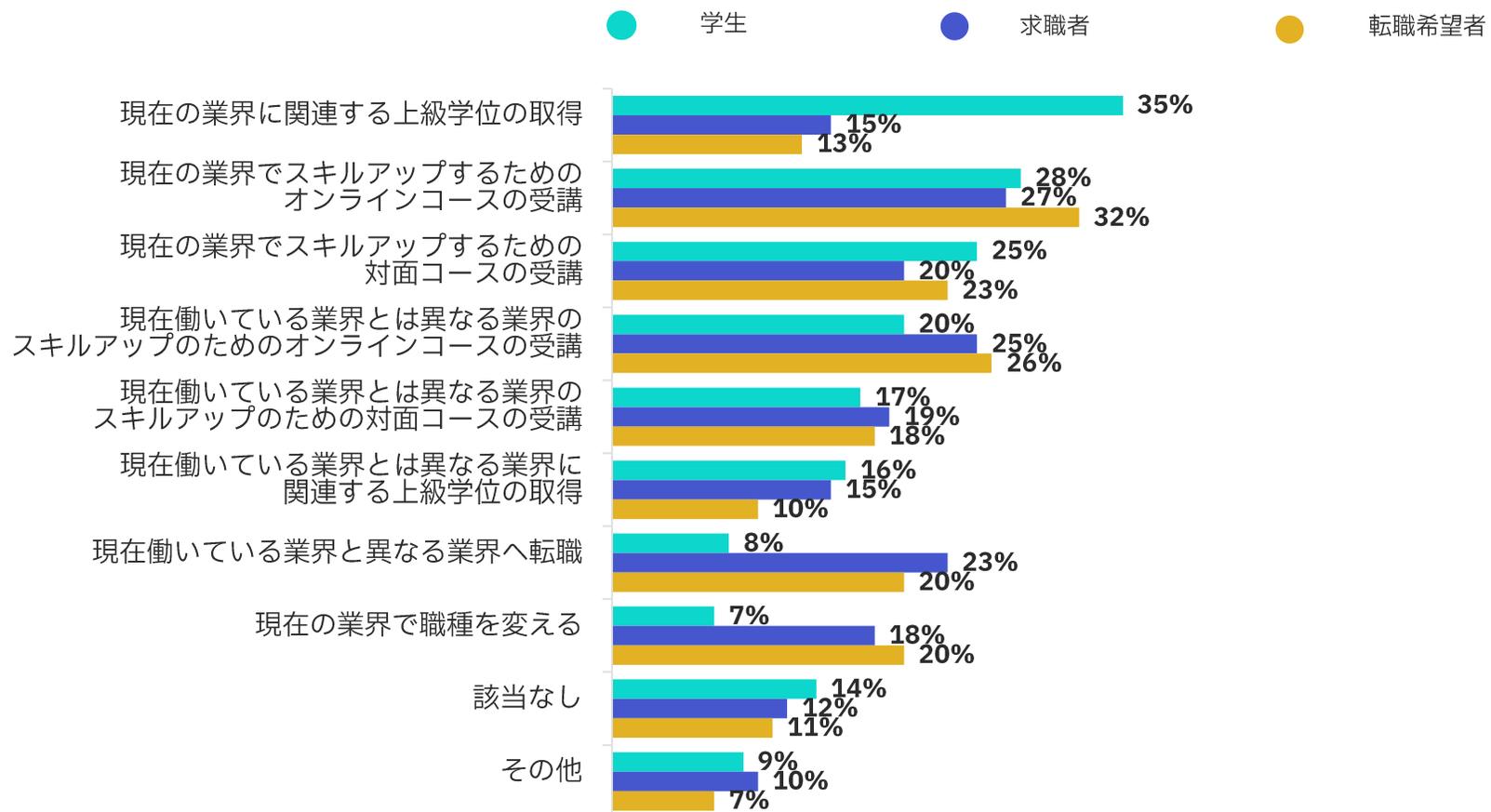
学生・転職希望者の61%が積極的に転職活動をしている、または今後1年以内にする予定である

▼現在の状況を最もよく表しているのはどれですか？



回答者の4分の1以上が、今後2年間に現在の業界でスキルアップのためにオンラインコースを受講する予定があると回答

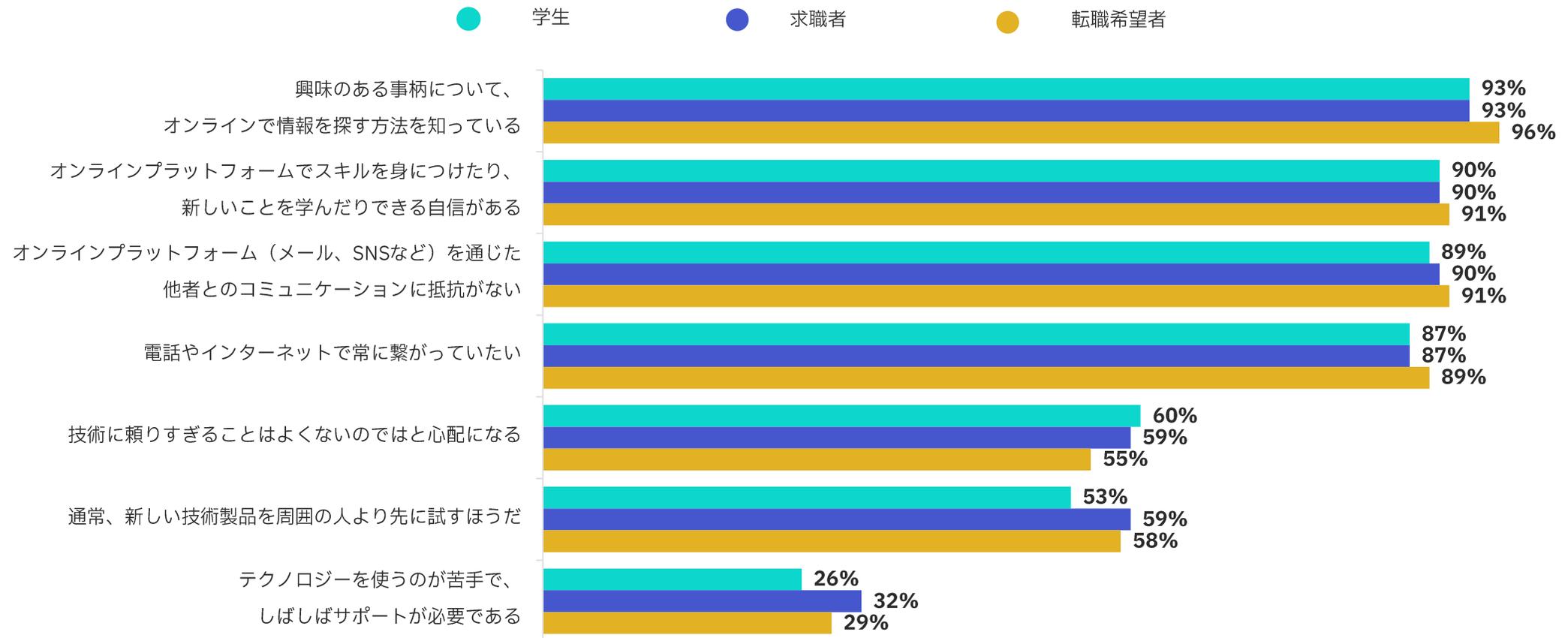
▼今後2年間に以下のようなことをする予定がありますか？（複数選択可）



世界：スキルと教育に関する調査

少なくとも90%の回答者が、オンラインプラットフォームでスキルを身につけたり、新しいことを学んだりできると確信

▼以下の記述にどの程度同意しますか？（「強く同意する」「やや同意する」の合計の割合）



世界：スキルと教育に関する調査

STEM分野の仕事について、UAEの学生と米国の学生が「よく知っている」と回答した割合が高く、日本の学生は「全く知らない」と回答した割合が最も高い

▼STEM分野の仕事についてどの程度知っていますか？

“STEMとはScience（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Math（数学）の略で、STEM分野の仕事とはこれらのいずれかの分野に関する仕事のこと”

	「よく知っている」 「ある程度知っている」	よく知っている	ある程度知っている	少し知っている	全く知らない
学生（世界）	49%	18%	30%	25%	26%
ブラジル	52%	19%	34%	29%	18%
カナダ	52%	22%	30%	23%	25%
エジプト	48%	24%	23%	25%	28%
フランス	22%	3%	18%	30%	48%
ドイツ	52%	20%	32%	26%	22%
インド	50%	19%	31%	30%	20%
日本	19%	3%	16%	30%	50%
メキシコ	34%	8%	26%	33%	33%
シンガポール	52%	8%	43%	28%	20%
スペイン	43%	11%	32%	24%	33%
UAE	72%	26%	46%	18%	10%
英国	69%	34%	35%	18%	14%
米国	71%	34%	36%	19%	10%

世界：スキルと教育に関する調査

エジプト、インド、シンガポールの求職者は、STEM分野の仕事について「よく知っている」と回答した割合が最も高い

▼STEM分野の仕事についてどの程度知っていますか？

“STEMとはScience（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Math（数学）の略で、STEM分野の仕事とはこれらのいずれかの分野に関する仕事のこと”

	「よく知っている」 「ある程度知っている」	よく知っている	ある程度知っている	少し知っている	全く知らない
求職者（世界）	44%	17%	27%	23%	32%
ブラジル	46%	16%	31%	35%	18%
カナダ	43%	15%	28%	24%	33%
エジプト	63%	29%	34%	14%	23%
フランス	22%	8%	14%	22%	56%
ドイツ	37%	14%	23%	27%	37%
インド	67%	42%	25%	20%	14%
日本	31%	6%	25%	25%	43%
メキシコ	36%	9%	27%	27%	37%
シンガポール	62%	25%	37%	18%	20%
スペイン	36%	12%	23%	24%	41%
UAE	46%	17%	29%	18%	35%
英国	51%	17%	35%	20%	28%
米国	54%	22%	32%	20%	26%

インドの転職希望者は、STEM分野の仕事について「よく知っている」と回答した割合が最も高い

### ▼STEM分野の仕事についてどの程度知っていますか？

“STEMとはScience（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Math（数学）の略で、STEM分野の仕事とはこれらのいずれかの分野に関する仕事のこと”

	「よく知っている」 「ある程度知っている」	よく知っている	ある程度知っている	少し知っている	全く知らない
転職希望者（世界）	36%	12%	24%	23%	41%
ブラジル	36%	13%	23%	33%	31%
カナダ	38%	11%	27%	23%	40%
エジプト	42%	21%	21%	16%	41%
フランス	15%	5%	10%	18%	67%
ドイツ	30%	5%	25%	20%	50%
インド	67%	37%	30%	19%	14%
日本	22%	4%	18%	27%	51%
メキシコ	26%	8%	18%	29%	45%
シンガポール	40%	13%	27%	25%	35%
スペイン	28%	7%	21%	27%	45%
UAE	32%	12%	20%	25%	44%
英国	43%	13%	31%	17%	40%
米国	49%	19%	30%	19%	32%

UAE の学生は、STEM 分野の仕事に最も関心を持っている割合が高い

▼次のうちどれに当てはまりますか？

	現在STEM分野の仕事をしている	STEM分野の仕事に興味があるが、現在はSTEM分野の仕事をしていない	STEM分野の仕事に興味はない
学生（世界）	5%	51%	44%
ブラジル	5%	59%	36%
カナダ	4%	46%	50%
エジプト	20%	36%	43%
フランス	3%	34%	62%
ドイツ	6%	46%	48%
インド	5%	61%	34%
日本	2%	40%	58%
メキシコ	2%	64%	34%
シンガポール	3%	59%	38%
スペイン	2%	51%	46%
UAE	4%	73%	23%
英国	2%	50%	48%
米国	5%	47%	48%

## 世界：スキルと教育に関する調査

エジプト、インド、メキシコ、UAEの転職希望者は、STEM分野の仕事に興味がある割合が高い

▼次のうちどれに当てはまりますか？

	現在STEM分野の仕事をしている	STEM分野の仕事に興味があるが、現在はSTEM分野の仕事をしていない	STEM分野の仕事に興味はない
転職希望者（世界）	10%	50%	39%
ブラジル	6%	59%	35%
カナダ	9%	44%	46%
エジプト	10%	62%	28%
フランス	3%	41%	55%
ドイツ	8%	38%	54%
インド	26%	62%	12%
日本	8%	48%	44%
メキシコ	9%	64%	27%
シンガポール	15%	56%	29%
スペイン	8%	51%	42%
UAE	10%	64%	26%
英国	9%	42%	49%
米国	10%	44%	46%

## 世界：スキルと教育に関する調査

ブラジル、カナダ、エジプト、インド、シンガポール、英国、米国の学生の70%以上が、今後10年間にSTEM分野でのキャリア機会が増加すると考えている

▼今後10年間で、STEM分野の仕事のキャリアの機会は増えると思いますか？

	「大幅に増加する」 「少し増加する」	大幅に増加する	少し増加する	変わらない	少し減少する	大幅に減少する
学生（世界）	67%	31%	36%	24%	5%	3%
ブラジル	80%	38%	42%	14%	3%	2%
カナダ	71%	36%	35%	22%	5%	3%
エジプト	80%	49%	31%	13%	3%	4%
フランス	43%	16%	27%	38%	11%	8%
ドイツ	68%	37%	30%	22%	7%	3%
インド	76%	38%	38%	17%	3%	4%
日本	50%	10%	39%	37%	7%	6%
メキシコ	69%	30%	39%	21%	6%	4%
シンガポール	77%	38%	40%	19%	3%	1%
スペイン	67%	31%	36%	25%	6%	2%
UAE	60%	22%	38%	35%	3%	2%
英国	73%	34%	40%	19%	6%	3%
米国	71%	32%	38%	22%	5%	2%



**MORNING CONSULT<sup>®</sup>**